

# 「オカン、東京へ来いよ」スキルス胃癌を患った母・支えた息子

映画・医療ライター こもり 小守ケイ

「マー君のオカン、癌の手術で入院しとるよ」。80年代中頃。東京に住む23歳の青年、中川雅也が久し振りに郷里の母に電話すると、母の妹である叔母にこう告げられる。

慌てて入院先に電話した雅也。「甲状腺癌よ。声帯を残せたから儲け物よ」と明るく話す母の声からは、心配させまいとする気持ちが痛いほど伝わってくる。

雅也の郷里は北九州。3歳までは父母と3人で暮らしたが、母が遊び人の父の元から筑豊の実家に戻って以来、炭鉱町の定食屋で働く母の手一つで育てられた。やがて雅也は憧れの東京で美術大学に進学するが、母からの仕送りは酒、煙草、麻雀に消え、卒業後も就職せずサラ金からの借金生活。バツが悪くて、最近連絡を絶っていたのだ。

原作はリリー・フランキーのベストセラー小説で、監督は松岡錠司。雅也をオダギリジョー、母を樹木希林（若い頃は樹木の実娘、内田也哉子）が演じ、昭和～平成の過渡期を背景に過去と現在を交差させながら、時々現れる父との交流も交え、母と息子の愛を描き出す。

## 女性に多い甲状腺癌

甲状腺は首の“のど仏”の両側にあり、細胞の

代謝を高め維持する甲状腺ホルモンを作っている内分泌臓器。そこにできた悪性腫瘍が甲状腺癌で、乳頭癌、嚢胞癌、髄様癌、未分化癌の4種類ある。どれも女性に起こりやすいが、1年以内に死亡する未分化癌以外は悪性度が低く、特に甲状腺癌の80%を占める乳頭癌は、小さいうちに切除すると95%の人は30年生存する。手術は通常、鎖骨に沿って切開し、腫瘍ごと甲状腺を摘出する襟状切開法で行われるので、首元にU字形の切開跡が残る。本作中で母が首にスカーフを巻いているのもこの為だが、最近は傷跡が目立たない内視鏡手術も開発された。



©2007「東京タワー～o.b.t.o」製作委員会  
発売・販売元：バップ  
写真：オカンの入院に付き添って行く雅也

## 十数年ぶりの同居生活、和やかな日々

母の癌を知った雅也は、心機一転、真面目に働き始める。ちょうどバブル時代、次々入るイラストやコラム、ラジオのDJなどの仕事を引き受けているうちに借金も完済し、初出版した本を母に送ると「立派になったね!」と母から電話。しかし「癌は完治したんだろ?」と尋ねると、「声帯に取り残しがあって通院中よ」。心配になった雅也は、母に上京を促す。

「よろしくね」。93年、30歳の雅也の元に、郷里の家を畳んだ母がヌカ床持参でやって来た。

## 映画「東京タワー/オカンとボクと、時々、オトン」

松岡錠司監督、2007年、日本

雅也はこれまでの罪滅ぼしに東京見物や食べ歩きに連れて行き、アパートでは母が雅也の仲間達に手料理をふるまう。笑顔の絶えない日々が過ぎていく。

### 悪性度が高いスキルス胃癌

しかし、2001年1月、「食べ物がひっかかったり、吐いたり。胃に転移したかも」と母が言い出し、検査結果は「スキルス胃癌なので手術不能」。雅也は「オカン、頑張ろう。金は俺に任せて」と励まし、抗癌剤治療を勧める。

スキルス胃癌は、胃壁上に隆起せず胃壁の中を水平に広がっていく癌。通常の胃癌は胃粘膜の細胞が癌化し、5mm位の大きさになると検査で発見されるので早期治療ができる。そのため近年、日本では胃癌死が減ったのだが、スキルス胃癌は、診断がついた時点で既に60%に転移があり、治療成績は悪い。それは、スキルス胃癌は粘膜に変化をきたさず、X線造影や内視鏡でも発見できない場合が多く、その上、他所、特に腹膜などに種を撒くように速く広がるからだ。また、母がスキルス胃癌を甲状腺癌からの転移と思うのも無理ないが、甲状腺癌からの転移は骨や肺などへが多く、胃への転移はほとんど無いので、彼女の場合も不運にも二つ目の癌を患ったと考えるのが適当だろう。

### 「マー君と東京タワーに上りたかった」

抗癌剤治療を決めた母は、東京タワーの見える病室に入院する。宝物である雅也の大学卒業

証書をお守りに持って臨んだのだが、治療はベッドの上を転げまわるほど凄まじく、1回目は耐えても2回目には断念せざるを得なかった。

「治療中止なら余命は2、3ヶ月」との宣告の下、病室に泊まり込んだ雅也は、九州から母の姉妹を呼び、また、長年、別居してきた父にも見舞いを頼み、母を思いやる。しかし桜が咲く頃、容態は一層悪化し幻覚も出始め、そして、スキルス胃癌発見から約3ヶ月の朝、ついに母は息を引取った。「マー君、長い間、有難う」。

息子のために生き、成長を見守ることが喜びだった母。その惜しめない愛に応え、病んだ母を懸命に看取った息子。誰にも思い当たる母と子の姿が随所に映され、ジーンと来る。同時にスキルス胃癌の難しさもリアルに描かれ、癌検診の啓発も促す映画である。

監修：東京通信病院 副院長・内科部長 <sup>みや</sup>宮 <sup>ざき</sup>崎 <sup>しげる</sup>滋

